

あかずきんちゃん



ポール・ガルドン さく ゆあさ ふみえ やく
ほるぷ出版 1976年 1325円
32ページ 21×26cm

おばあさんの家までおつかいをたのまれた、あかずきんちゃん。けれどもついつい道草をしてしまいました。その間にオオカミはおばあさんを食べしまい、さらにあかずきんちゃんをねらっておばあさんに変装するのです。という、誰もが知っているグリムのおはなしを、楽しくコミカルな絵と語りで表現しています。自然を愛する作者らしく何色もの色を細かく使って、ゆたかな自然の木や花を、生き生きと描いています。ページをめくるとあかずきんちゃんの丸いかわい目や、色とりどりの野原の花たちに、引き込まれてしまいます。そしてオオカミの毛皮や木の色が、ただの一角ではないことに気づかせてくれます。



あかてぬぐいのおくさんと7にんのなかま

イ ヨンギョン ぶん・え かみや にじ やく
福音館書店 1999年 1575円
32ページ 24×33cm

これは韓国の昔の物語をもとにした絵本です。「あかてぬぐいのおくさん」が昼寝している横で、おくさんの針しごとの7つ道具たちが、「わたしがいちばん」とそれぞれの重要さを言い立ててあそびます。目をさましたおくさんは「いちばんえらいのはこのわたし」と7にんの仲間をしっかりとつたのですが、みんながいなくなってしまう夢を見て、お針はみんながそろっていなくてはできない仕事、と気づきます。韓国の昔のくらしの様子もめずらしくて楽しく、ただ寝ているだけ、と見えるおくさんの表情が、ページごとに少しずつかわってゆく様子を楽しむこともできます。

